

講義名	健康・スポーツ関連企業分析		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	山口 泰雄		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	23116

### 主題と概要

わが国では、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームズ関西という、かつて経験したことのない国際的なメガスポーツイベントの3年連続開催『ゴールデン・スポーツイヤーズ』を迎える。スポーツ庁は、「第2期スポーツ基本計画」において、スポーツ産業規模を15兆円（現状の3倍）を目標に掲げ、スポーツ産業を成長産業と捉え、本格的な取り組みが始めた。健康・スポーツ関連産業は、本学学生の就職先としても益々、重要度が高まっている。本稿では、健康・スポーツ関連産業からゲスト講師を迎え、各産業の現状報告とマーケット戦略のプレゼンをベースにして、アクティブラーニングの手法を活用し、関連産業の分析を行う。

### 到達目標

本稿を通して、以下の4項目の到達目標にアクティブラーニングの手法によりアプローチする。  
 1) 健康・スポーツ関連企業に関する専門知識を習得する。  
 2) 健康・スポーツ関連企業に関する課題と問題意識を身に付ける。  
 3) 健康・スポーツ関連企業に関するマーケティング技法を学ぶ。  
 4) 健康・スポーツ関連企業が求める人材像と就職情報を明確にする。

### 提出課題

授業終了時に、その日の感想、質問、ポイント等を小レポートとして提出してもらおう。また、グループワークのプレゼン資料を提出する。

### 評価の基準

グループワーク、レポート 50%、授業態度、質問、出席等50%

### 履修にあたっての注意・助言他

提出物の期限厳守、資料・書籍の通読。授業計画は、進行状況により変更する場合がある。

### 教科書

.使用しない.

### プリント資料及び参考文献

プリント資料は必要に応じて配布する。

### 授業計画

1. イントロダクション（「授業計画と授業の進め方等」）
2. ケーススタディ
3. ケーススタディ
4. ゲスト講師 「スポーツツーリズム（観光）業界」
5. 事例研究
6. アシックスミュージアム見学（アシックス本社）
7. ゲスト講師 「スポーツメーカー業界」
8. グループワーク
9. ゲスト講師 「スポーツメディア業界」
10. グループ分け、プレゼン資料作成
11. プレゼン資料作成
12. ゲスト講師 「プロスポーツ業界」
13. プレゼン資料作成
14. プレゼン
15. プレゼン 、まとめ

### 予習・復習

予習： 毎回の講義の主題に沿った事前学習を行う。授業内でパワーポイントが完成しなかった場合、グループで完成させておくこと。  
 復習： ゲスト講師の講義およびグループワークで確認した課題を復習する。

### 備考